

2005年度 建築計画委員会の活動

委員長 服部岑生

委員会の目的と構成

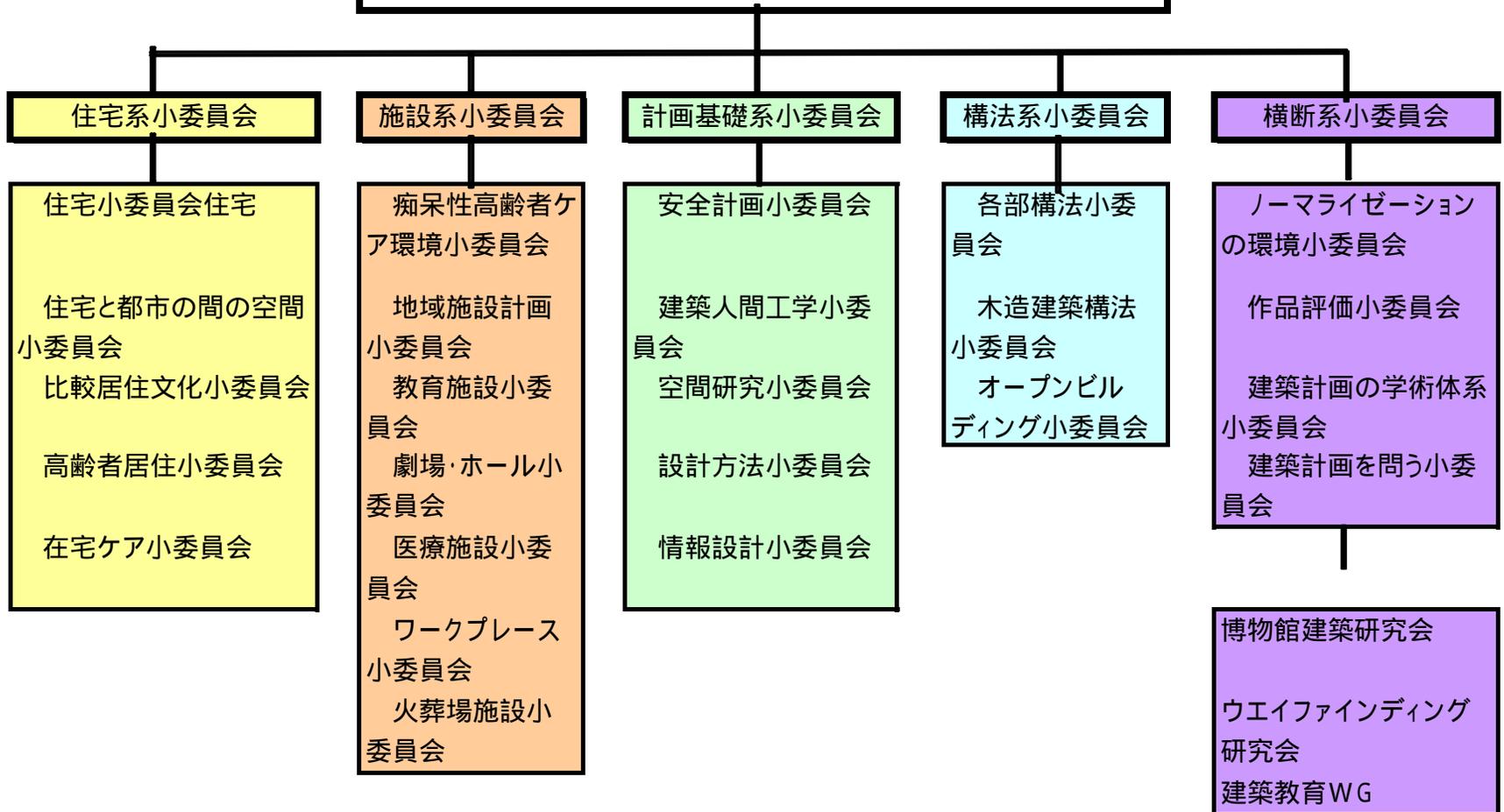
• 目的

- (1) 建築計画に関する調査研究
- (2) 学術研究会・研究協議会・講習会の実施
- (3) 建築計画関係者の交流および情報交換
- (4) 学術等の資料作成
- (5) 委託研究の実施
- (6) その他

• 構成

- (1) 基本19小委員会・21WG・1研究会、研究8小委員会・8WG
- (2) 基本・委員340名・151回会合、研究・委員166名・67回会合

2005年度建築計画委員会



住宅系小委員会

住宅系小委員会

住宅小委員会住宅

住宅と都市の間の空間
小委員会

比較居住文化小委員会

高齢者居住小委員会

在宅ケア小委員会

住宅系小委員会

催し物・研究集会、講習会等

(1) 公開研究会

- ・「都心居住の新しいあり方と都市型住宅のデザイン」(住宅小委員会)
- ・「住まいの安心を何に求めるか」(同上)
- ・「京都・職住共存地区の新動向」(住宅小委員会・住宅と都市の間の小委員会合同)
- ・「日本のニュータウン計画の形成と再生」(住宅と都市の間の小委員会)
- ・「住宅改修による自立支援や生活改善の効果・有効性の評価」(在宅ケア環境小委員会)
- ・「高齢者居住をめぐる計画的視点(9) 施設から外に出る」(高齢者居住小委員会)

(2) 見学会

- ・「京都・職住共存地区の新動向」(住宅小委員会・住宅と都市の間の小委員会合同)
- ・「非バリアフリー住宅 三鷹天命反転住宅」(在宅ケア環境小委員会)

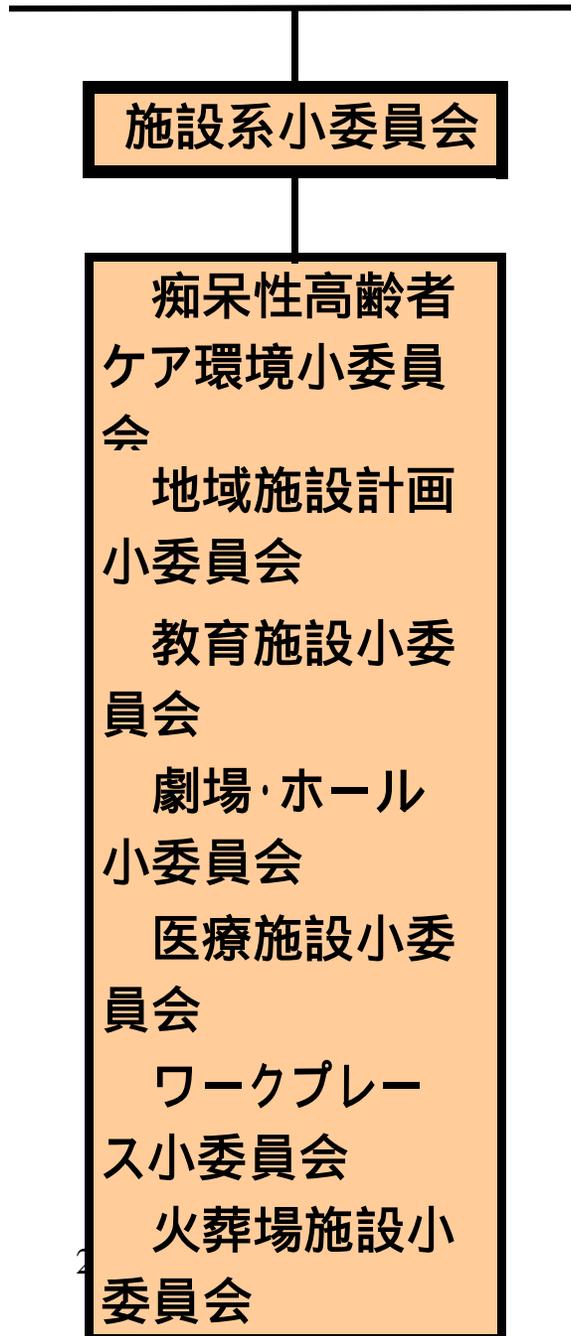
(3) 出版等

- ・「事例で読む現代集合住宅のデザイン(彰国社)」2004.10 重版 1000部(住宅小委員会)
- ・報告書「ケアマネージャー向けの住宅改修用の研究プログラムの開発」(在宅ケア小委員会)
- ・ビデオ「ケアマネージャーに必要な住宅改修アセスメント技術」全3巻(同上)

住宅系小委員会 (2006)

- 住宅系の計画研究報告会（シンポジウム）の開催と団地再生に関する検討成果の発表（住宅小委員会）
- 環境空間の優れた事例の見学会および公開講演会を開催（住宅と都市の間の空間デザイン小委員会）
- 海外研究者ネットワークの構築とフィールドワーク技法のマニュアル作成（比較居住文化小委員会）
- 論文集の刊行準備と事例の多面的評価研究の実施（高齢者居住小委員会）
- 住宅改修の効果・有効性の評価研究の実施（在宅ケア小委員会）

施設系小委員会



施設系小委員会

・ 刊行物

- (1) 地域施設計画研究23
- 2) 認知症高齢者への環境支援指針(P E A P) を用いた施設環境づくり実践ハンドブック Part2 実践から見た取り組み事例
- (3) 同 Part3 ワークショップ:環境への気づきを高め、共有する
注)(2)、(3) は日本認知症ケア学会と共同制作

・ 催し物・研究集会、講習会等

- (1) 23 回地域施設計画シンポジウム、参加者数80名(地域施設計画小委員会)
- (2) セミナー:認知症高齢者への施設環境づくり (日本認知症ケア学会との共同開催)参加者数180名(認知賞高齢者ケア環境小委員会)
- (3) 公開研究会:既存特養での ユニットケア導入のための改修モデル
参加者数20名(認知賞高齢者ケア環境小委員会)
- (4) 公開研究会:地域に根ざした認知症ケアの実践 参加者数20名(認知賞高齢者ケア環境小委員会)
- (5) 実践報告会:施設環境づくりプロジェクト2005(日本社会事業大学施設環境づくり共同研究プロジェクト主催に協賛) 参加者数80名(認知賞高齢者ケア環境小委員会)
- (6) (資料)東京多摩地区6施設との施設環境づくり共同実践研究資料

施設系小委員会(2006)

・ 課題

- (1) 関東以外の委員の参加を時間的、経済的にバックアップしたい。(教育施設小委員会)
- (2) 不参加委員の公募委員との入れ替え。運営関連委員の増員(劇場・ホール小委員会)
- (3) 交通費の関係で全国の委員を選んでいるが、交通費の自己負担が活動の妨げとなっている。自治体等からの研究発表が少ない。(地域施設計画小委員会)
- (4) 地域で活躍する委員の地域に密着した研究・実践活動の取り上げ。外部のケア集団との連携を生かした大会等での研究集会開催。認知症ケア環境理論の構築。(認知症高齢者ケア環境小委員会)
- (5) ワークスタッフ不足、委員の出席率 向上。(火葬場施設小委員会)

計画基礎系小委員会

```
graph TD; A[計画基礎系小委員会] --- B[安全計画小委員会]; A --- C[建築人間工学小委員会]; A --- D[空間研究小委員会]; A --- E[設計方法小委員会]; A --- F[情報設計小委員会];
```

計画基礎系小委員会

安全計画小委員会

建築人間工学小
委員会

空間研究小委員会

設計方法小委員会

情報設計小委員会

計画基礎系小委員会

催し物・研究集会、講習会等

(1) 公開研究会

- ・「日常生活を科学する - 浴室内の事故 - 」(建築人間工学・安全計画の共催)
- ・「群集事故の人間工学 - 事例を教訓として - 」(建築人間工学小委員会)
- ・「ヘンリー・サノフ氏『デザインにおけるプログラミング、評価、参加の統合』」(同上)
- ・「映像による空間表現からの建築の可能性(展覧会同時開催)」(空間研究小委員会)
- ・「関係性のデザイン - オブジェクトレベルからメタレベルへ」(設計方法小委員会)
- ・「幼児保育施設における『環境と空間』」(同上)
- ・「街角の居場所の創出・実践者を迎えて」(環境行動小委員会)

(2) 見学会

- ・「鹿島建設・竹中工務店・日建設計の設計部オフィス」(情報設計小委員会)

(3) 出版等

- ・「火災安全と建築設計・建築家のためのデザインガイド(森北出版)」(安全計画小委員会)
- ・「建築・都市計画のための空間学事典 改訂版(井上書院)」(空間研究小委員会)
- ・「コラボレーションによるデザイン(彰国社)」(設計方法小委員会)
- ・「生活環境のリストラクチュアリング(建築雑誌)」(環境行動小委員会)

計画基礎系小委員会(2006)

- ・ 氾濫, 豪雨, 津波, 高潮, 衝突, 群集事故, 侵入犯罪等への設計基準の検討 (安全計画小委員会)
- ・ 第47~49回研究会の開催 (建築人間工学小委員会)
- ・ 「空間デザイン辞典」の刊行と出版記念シンポの開催 (空間研究・環境行動小委員会)
- ・ デザイン研究関連他学会との「Designシンポジウム2006」開催 (設計方法小委員会)
- ・ 「情報と空間シンポジウム」の開催と設計組織オフィスの見学会 (情報設計小委員会)
- ・ 優れた居場所の見学会, 「居場所づくり当事者の語り」の開催 (環境行動小委員会)
- ・ 「体験される場所の質とデザイン」の出版 (環境行動小委員会)

構法系小委員会

構法系小委員会

各部構法小委
員会

木造建築構法
小委員会

オープンビル
ディング小委員

構法系小委員会

2005年度一催し物・研究集会、講習会等

- (1) 公開研究会 オープンビルディング・フォーラム（オープンビルディング小委員会）
- (2) CIB W104 テクニカルツアー「インフィルシステムによる既存団地の改修事例学」（小委員会共通）
- (3) 公開研究会『指付け技法からみた民家の特徴』（木造建築構法小委員会）

2006年度

- (1) 公開研究会の開催（オープンビルディング・フォーラムにおいて、ディテール技術の探求）
- (2) 現場見学会の開催（改修工事の先進事例の探求）

見

横断系小委員会

横断系小委員会

ノーマライゼーションの環境小委員会

作品評価小委員会

建築計画の学術体系小委員会

建築計画を問う小委員会

博物館建築研究会

ウェイファインディング研究会

建築教育WG

横断系小委員会

2005 年度

- (1) 研究協議会「21世紀COEプログラムに見る建築計画研究の未来」(建築計画を問う小委員会)
- (2) ミニシンポジウム「建築計画とPFI」
- (3) ミニシンポジウム「市民参加による建築設計—富弘美術」
- (4) ミニシンポジウム「江古田ハウスを通じて」講師：坂本
- (5) ミニシンポジウム「住民と行政とのコラボレーションによる住宅の再生そのプロセスと課題」等

2006 年度

- (1) 設計者による建築計画への提言を行うミニシンポジウム
- (2) 建築計画に関わる優れた建築の探求
- (3) 国際生活機能分類(IF)の建築計画研究への適用の探求

建築計画委員会の課題

(2003～年度)

- 領域の拡大－サステナビリティ、高齢化対応、
利用・住民者参加、新タイプ施設
- 既存領域の深化－人間科学、マネージメント
- 領域を越える横断化－デザイン、持続性
- 社会、事業者との関係－地域・環境貢献、経営
- 行政との関係－都市政策、住宅政策等
- 教育体系・学会等の既成条件との調整

今後の課題と活動準備(2003～年度)

- **建築計画領域の拡大についての対応**
 - 下部小委員会から話題提供(公開)と啓蒙
 - **建築計画の体系**の整理の検討(2004年度小委員会設置)
- **建築設計への実質的な関連づくり**
 - 作品評価小委員会の再編成と公開研究会開催、**現代建築研究の推進**
- **建築教育(計画系)のあり方の研究**
 - 教育WGおよび21世紀計画系教育特別研究委員会への参加
- **その他の課題**— **緊急課題へ対応、男女共同参画**

超高層集合住宅の可能性と問題点

日時： 2006年7月11日(月) 14:00-17:00

会場： 建築会館ホール

司会：西出和彦

主旨説明：服部岑生

パネラー：

田辺久人(三菱地所)

浅見泰司(東大)

瀬渡章子(奈良女大)

山内宏太郎(白百合女子大)

織田正昭(東大)

日本建築学会 「建築計画を問う委員会」主催
第2回 緊急研究討論会

> 春季学術研究集会主催：建築計画委員会

>

➤ 「京町家と大阪長屋」

➤ ー再生からみた都心居住のあり方ー

>

> 江戸時代から続く都市の歴史の中での都心居住の原点にもどり、様々なストック活用があり得るのではないかという観点から、京都と大阪の2会場をもちいて、関西圏の町屋、長屋に着目して、居住としてのあり方のみならず、リノベーションによる様々なコミュニティ施設としての整備方針まで討論しようとするもの。

>

> 日時：2005年6月10日(金)、11日(土)

➤ 会場：京都(京都市景観・町づくりセンター、及び町屋見学)

➤ 大阪(大阪市住まい情報センター、及び長屋見学)

➤ <プログラム>

> コーディネート：森田孝夫(京都工芸繊維大学)、横田隆司(大阪大学)

➤ 第一日目

➤ 主旨説明：服部岑生(千葉大学)

➤ 講演 奥美里、八木康夫

➤ 町家見学

➤ 第二日目

➤ 長屋見学

➤ 解説 寺内信、弘本由香里

➤ 討論 寺内信、弘本由香里、橋爪紳也、井上守

その他の大規模研究集会

- 第3回緊急研究討論会「**住宅政策のこれからを問う**」高田光雄、小林秀樹、浅見泰司、泉洋人、野城智也、園田真理子ほか
- 第4回緊急研究討論会「**都市再生：秋葉原のまちづくり**」三宅理一、友田博通、小林秀樹、山本俊行ほか
- 大会研究協議会「**建築計画の手法の蓄積は21世紀の都市・地域再生に何を可能とするか**」西村伸也、山下哲郎、小野田泰明ほか

終

幹事－西村伸也(新潟大)、園田真理子(明治大)、清水裕之(名古屋大)、野城智也(東大)